

## 美術館だより

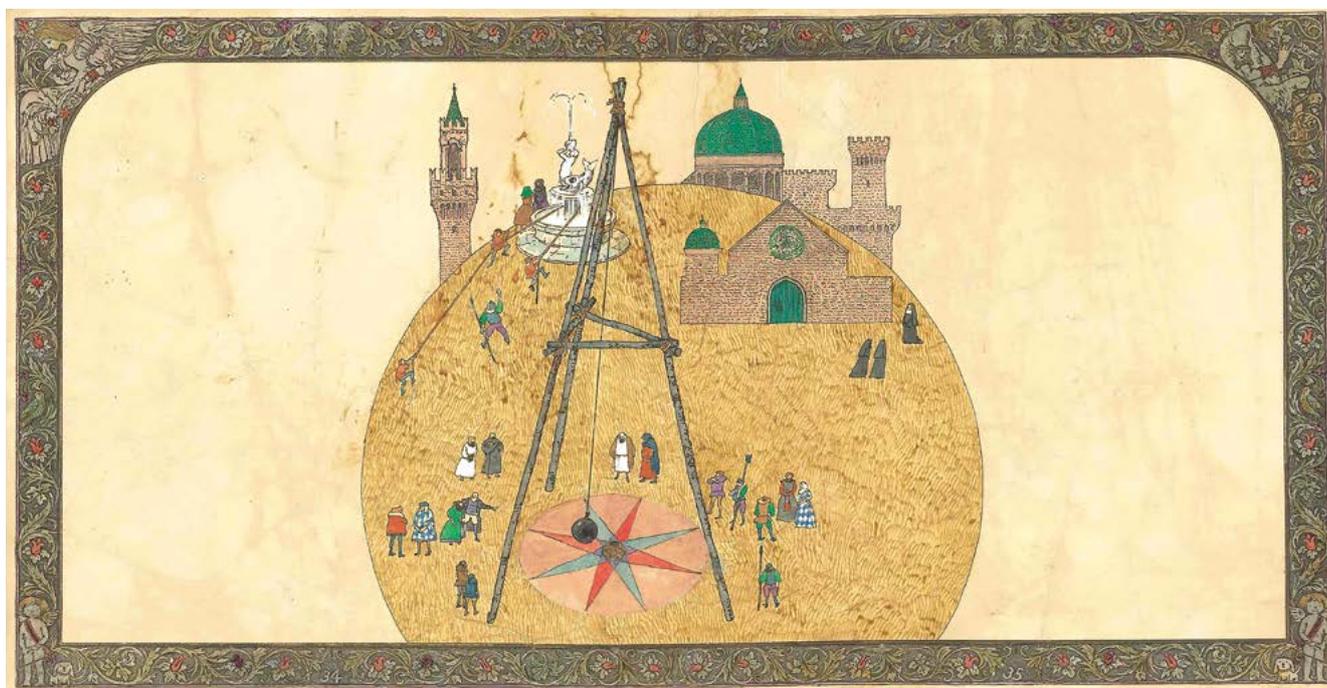
## Contents

- 1 企画展「津和野町立安野光雅美術館コレクション 安野先生のふしぎな学校」より(近代美術館)
- 2-3 企画展「津和野町立安野光雅美術館コレクション 安野先生のふしぎな学校」(近代美術館)
- 4 企画展「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～」(五浦美術館)
- 5 企画展「パステルカラーな気分」(五浦美術館)
- 6-7 企業パートナーシップ事業
- 8 インフォメーション

No.132  
Sep 18, 2025

## 茨城県近代美術館

## 「津和野町立安野光雅美術館コレクション 安野先生のふしぎな学校」より



『天動説の絵本』より 1979年 ©空想工房 画像提供:津和野町立安野光雅美術館

地球は丸い、そして自転しながら太陽の周りを公転している——。

現代では、誰もが自明のこととして学校で習い、それを事実として受け止めています。しかし、安野先生は問いかけます。「人はみんな地動説が本当にわかっているといえるでしょうか」と。

戦後の一時期、小学校の教員を務めた画家・安野光雅(1926-2020)は、教育の本質を問い、「知ること」と「わかること」の違いを大切にしました。そして安野は、天

体の動きが説明できることと、魔法使いや悪魔の存在が信じられていた時代の人々が何を考えていたかまで理解することは異なる、と考えたのです。

『天動説の絵本』は、地動説が常識となる以前の昔々のお話です。「もう地球儀というものを見、地球が丸いことを前もって知ってしまった子どもたちに、いま一度地動説の驚きと悲しみを感じてもらいたい」との思いから制作されました。

[近代美術館 首席学芸員 吉田衣里]

# 企画展 津和野町立安野光雅美術館コレクション 安野先生のふしぎな学校

会 期：2025(令和7)年9月13日[土]～11月16日[日]  
 開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)  
 休 館 日：月曜日  
 ※ただし9月15日[月・祝]、10月13日[月・祝]、11月3日[月・祝]  
 は開館、9月16日[火]、10月14日[火]、11月4日[火]は休館。  
 入 場 料：一般1,240(1,130)円／満70歳以上620(560)円／  
 高校生980(820)円／小中生550(420)円  
 ※( )内は20名以上の団体料金  
 ※障害者手帳等をご持参の方及び付き添いの方1名は無料  
 ※土曜日は高校生以下無料  
 ※9月15日[月・祝]、17日[水]～21日[日]は満70才以上の方は無料  
 ※11月13日[木]は茨城県民の日のためすべての方が無料  
 主 催：茨城県近代美術館  
 協 賛：株式会社常陽銀行  
 後 援：水戸市／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／NHK水戸放送局／  
 産経新聞社水戸支局／東京新聞つくば支局／  
 日本経済新聞社水戸支局／毎日新聞水戸支局／  
 読売新聞水戸支局／LuckyFM茨城放送  
 企画協力：津和野町立安野光雅美術館／株式会社アートワン  
 ※本展はパートナー企業からの支援を受けています。

## 展覧会の概要

絵本をはじめ、装丁デザインや文筆の仕事でも豊かな才能を発揮した、画家・安野光雅(1926-2020)。本展では、絵本の原画を中心に、安野の作品約150点を、こくご、さんすう、りか、しゃかいなどの学校の授業科目に見立てた構成でご紹介します。

### 1時間目 こくご



『かげぼうし』より 1976年

『マッチ売りの少女』のお話を、安野流にアレンジ。  
 左頁と右頁で異なるお話が展開するようで、最後には……。

## みどころ

### ・小学校時代の学びが大事

独特のユーモアと想像力が魅力の安野作品。中でも子どもから大人まで多くのファンをもつ絵本作品は、心がワクワクするような創意に富んでいます。

そのような安野の絵本観には、自然豊かな島根県津和野の地で過ごした少年時代の遊び心、さらには終戦直後の一時期に小学校の教師を務めた経験が影響していることでしょう。「小学校時代の勉強が一生を左右する」と考えた安野は、興味を抱いて自分でやってみようとする気持ちを大切にしました。そして初のヨーロッパ旅行で、勉強することは「インポート(重要)」ではなく「インタレスト(興味をもつこと)」だとする言葉に出会ったことで、安野の生涯続いた独学人生がはじまりました。

### ・世の中の仕組みを絵本に

数とは何か? はじめて数にであう子どもたちのために、数について振り出しにもどって考えた絵本が、『かぞえてみよう』です。ひと気のない雪山に、人が増え、家が建ち……。ページをめくるごとに増えていくのは“数”。そして絵本のページに記されているのは「1」から「12」までの数字のみで、文字は一切記されていません。しかしながら絵を見る人は、そこに暮らす人々のドラマにも思いを馳せることでしょう。移りゆく季節も美しい、静謐な数の絵本です。

### 2時間目 さんすう



(上)「1」 (下)「7」ともに『かぞえてみよう』より 1975年

### ・遊び心にあふれた世界

隅々まで細かく描き込まれた安野の絵には、読み解く楽しさがあります。たとえば絵本『蚤の市』に描かれているのは、どこかの国の蚤の市（フリーマーケット）の風景。そこには日用品や玩具、楽器、骨董など様々な品を売る店が集まり、品定めする買い物客が訪れてひしめき合っています。目をこらしてよく見てみると、フランスの画家エドゥアール・マネが描いた《笛を吹く少年》(1866年)のような男の子がいたり、昔話「ももたろう」を思わせる道具が並んでいたり……。 「あれ!？」 「どうのこと？」 「もしかして……」 と思えたならば、それこそが、絵をよく見た人だけが気づくことができる、遊び心にあふれた安野の絵本の世界です。

### ・原画ならではの美しい色彩

印刷された絵本は、自分のペースで読み進められる良さがありますが、本展に出品されている原画の魅力は何と言っても、筆の運びや絵具のかすれなどを通して作者の息づかいまで感じられる、その生々しさでしょう。

3時間目 ずこう・おんがく ——



『もりのおぼん』より 1977年

森の中に、どんな生き物が隠れているでしょうか。



『うつくしき・アマリリス』  
『歌の絵本Ⅱ—世界の唱歌より—』より 1979年

安野先生の美しく多彩なミドリ色の世界。

また、原画の多くは紙に水彩絵具で描かれていますが、中には切り絵や鉛筆画、日本画の岩絵具で描いた作品もあります。技法の違いにも注目しながら、美しい色彩が魅力の安野作品をご堪能ください。

### ・「あつまれ! きんび小学校」

会期中、アートフォーラムコーナーに、「きんび小学校」が出現します。教室の黒板を前に椅子に座って、なつかしの小学校生活を味わってみませんか。大きな三角定規など先生の必需品や、給食の食器を手に、記念撮影も可能です。もちろん安野光雅の絵本が数多く揃う「図書室」のほかに、大きなマグネットでパズルあそびができる「図工室」も。展覧会とあわせて、お楽しみください。

[近代美術館 首席学芸員 吉田衣里]

4時間目 しゃかい ——



『蚤の市』より 1983年

よく見ると、おかしなことが起きている……。



『熊本県・阿蘇 根子山』『原風景のなかへ』より 2013年  
日本画の画材（岩絵具）で描いた山岳風景。

# 企画展 水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～

**会 期：**2025(令和7)年9月12日[金]～10月26日[日]  
**開館時間：**午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)  
 ※10月25日[土]、10月26日[日]は午後7時まで開館  
**休 館 日：**毎週月曜日  
 ※ただし9月15日[月・祝]、10月13日[月・祝]は開館、  
 9月16日[火]、10月14日[火]は休館  
**入 場 料：**一般950(820)円／満70歳以上470(410)円／  
 高校生710(590)円／小中生360(240)円  
 ※( )内は20名以上の団体料金  
 ※障害者手帳等をご持参の方及び付き添いの方1名は無料  
 ※土曜日は高校生以下無料  
 ※9月15日[月・祝]、9月17日[水]～9月21日[日]は満70歳以上の方は無料  
**主 催：**茨城県天心記念五浦美術館／NHK水戸放送局／  
 NHKプロモーション  
**企画協力：**水木プロダクション  
**後 援：**朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／産経新聞社水戸支局／  
 東京新聞つくば支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／  
 LuckyFM茨城放送／北茨城市／北茨城市教育委員会

## 展覧会の概要

代表作『ゲゲゲの鬼太郎』をはじめ多くの妖怪作品を生み出し、現代の日本人に妖怪文化を定着させた漫画家・水木しげる(1922-2015)は、その後も長きにわたり妖怪ブームの担い手として活躍しました。

2022年の生誕100周年を機に企画された本展は、これまで開催されてきた数ある水木しげる展の中でも、初めて妖怪画が作られる具体的手法に注目した展覧会です。百鬼夜行の名にふさわしく、水木しげるの妖怪画の原画約100点を一挙公開するほか、水木しげるが所蔵し、参考にしてきた書籍や関連資料、妖怪文化人の系譜と著作などを展示します。

先人たちが築いてきた妖怪世界をリスペクトし、さらに豊かなものへと発展させた水木しげるの世界をお楽しみください。

## みどころ

### ①水木しげるの蔵書で辿る妖怪文化の歴史

妖怪図鑑の先駆として位置付けられる鳥山石燕『画図百鬼夜行』(1776年)や、妖怪の姿や由来を民俗学の視点から分析した柳田國男『妖怪談義』(1958年)など、水木しげるに大きな影響を与えた書籍や関連資料を紹介します。水木しげるが所蔵した貴重な資料から、日本の妖怪文化の歴史を辿ることができます。

### ②妖怪画の具体的な3つの創作手法を初めて紹介

生涯に1000点近くの妖怪画を描いた水木は、過去に描かれた妖怪の形を尊重し、形が伝わらない妖怪については歴史を踏まえながら妖怪の姿を与えました。本展では水木の妖怪画の創作方法を「絵師たちから継承」「様々な資料から創作」「文字情報から創作」の3つの手法に分けて紹介し、水木がどのように妖怪画を描いたのか紐解きます。

### ③妖怪と写真撮影できるARコーナー

がしゃどくろなどの様々な妖怪たちが展覧会会場に出現します。専用アプリを使用し、妖怪たちと一緒に写真撮影ができます。

### ④イベントが目白押し

会期最後の10月25日[土]、26日[日]は開館時間を午後7時まで延長します。夜の美術館で特別なひとときをお過ごしください。そのほかにも、北茨城市立図書館スタッフによる妖怪おはなし会やワークショップなど、ご家族で参加できるイベントが盛りだくさんです。

[天心記念五浦美術館 学芸員 木澤沙羅]



《がしゃどくろ》



《あかねめ》



柳田國男『妖怪談義』  
修道社1958年5版[初版1956年]  
水木しげる蔵



《塗壁》



《べとべとさん》



鳥山石燕『画図百鬼夜行』  
1776年  
水木しげる蔵

©水木プロダクション

会 期：2025(令和7)年11月1日[土]～12月20日[土]  
 開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)  
 休 館 日：毎週月曜日  
 ※ただし11月3日[月・祝]、11月24日[月・振]は開館、翌日休館  
 入 場 料：一般360(290)円／満70歳以上180(140)円／  
 高校生240(170)円／小中生170(110)円  
 ※( )内は20名以上の団体料金  
 ※障害者手帳等をご持参の方及び付き添いの方1名は無料  
 ※土曜日は高校生以下無料  
 ※11月13日[木]は茨城県民の日のため全ての方の入場料は無料  
 主 催：茨城県天心記念五浦美術館

### 展覧会の概要

コーラル・ピンクやパール・ブルー、日本古来の色名なら藤色や桜色…。白みがかった柔らかな色調の「パステルカラー」は、本来は粉末の顔料をチョークのように固めた棒状の画材「パステル」の特有の色彩を指します。見る人に爽やかで清潔な印象を与え、心を明るく優しい気分にしてくれるパステルカラーは、現在ではパステル画のみならず、ファッションやインテリア、自動車など、私たちの身の回りを彩る色彩として人気を集めています。

本展は、近代から現代にかけての画家たちによって描かれた、パステルカラーの映える日本画・水彩画・油彩画作品を集めた展覧会です。カラフルで、明るく透明感ある色彩が展示室を彩ります。

美しい海と豊かな自然の鮮やかな色彩に囲まれた五浦美術館で、それぞれ異なる画材により描き出されるパステルカラーの表現をお楽しみください。

### みどころ

#### ①パステルカラーな絵画たち

第1章では日本画に焦点を当て、自然の風景を明るく澄み切った色彩で描いた小野竹喬による屏風の大作《武陵桃源》(1918年頃)や、雪の中でたわむれる小鳥たちを温かな色遣いで描く小林巢居人の《春雪》(1977年)などをご紹介します。

第2章では、明快な色面構成の水彩で、独自の画風を確立した小堀進の《霞ヶ浦》(1954年)や、色彩豊かな風景画を多く描いた辻永による油彩画《湖辺早春》(1960年)などをご紹介します。

それぞれ異なる画材によるパステルカラーの表現をお楽しみください。

#### ②パステルカラーの作り方にも注目

水彩画や油彩画においてパステルカラーは通常、濃い色の絵具に、白い絵具を混ぜ合わせることによって出来上がります。一方、日本画においては、群青や緑青といった一部の色は、岩絵具の粒子が細くなればなるほど明度が上がり、白みを帯びてパステル調になるという違いがあります。展示室では岩絵具や、その元となる鉱物を紹介するコーナーも設け、日本画画材でのパステルカラーの作られ方を紹介します。

また、展覧会に合わせて11月22日[土]にワークショップ「鉱石からパステルカラーをつくろう」を開催します。孔雀石をすりつぶし、薄緑色の岩絵具「岩緑青」を作ります。

[天心記念五浦美術館 学芸補助員 宮本夢花]



小野竹喬《武陵桃源》1918年頃



小林巢居人《春雪》1977年



小堀進《霞ヶ浦》1954年



辻永《湖辺早春》1960年

全て茨城県近代美術館蔵

# 茨城県近代美術館企業パートナーシップ事業

MOMA  
IBARAKI

当館のパートナー企業の皆様は、地域社会への貢献を理念に掲げ、より良い社会づくりに積極的に取り組んでおられます。その取組の中から、文化芸術に関連した事例を2回に分けて紹介させていただきます。今回は、プラチナパートナー企業のご紹介です。

## 株式会社常陽銀行

常陽銀行は2025年7月30日に創立90周年を迎えます。お客さま・地域の皆様と繋がり、支え合い、これまでともに歩んでこられたことに、心より深く感謝申し上げます。今後も持続可能な地域社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする地域の全てのステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともに歩み、解決することで、新たな価値を創り続けてまいります。



### 金融教育の取り組み【小・中学生のための金融教室】

地域の金融リテラシー向上に貢献するため、金融教育に取り組んでいます。

小学生向けに「ブロックで学ぶ“お金と投資”のこと」と題したワークショップを開催し、楽しく金融の基礎を学びました。また、常陽史料館で親子で参加できる「お金のひみつ」講座や、鹿島アントラーズ公式戦でのスタジアム見学付き金融教室を実施しました。



### 地域の芸術・文化振興と普及活動【常陽藝文センター】

常陽藝文センターは、常陽銀行の創立50周年記念事業の一環として、1982年3月に設立、翌1983年7月から本格的に活動を開始した文化財団です。以来、「芸術・文化を通じて潤いのある郷土づくり、豊かでゆとりある個人生活づくりに寄与する」ことを目的に、郷土文化の掘り起こしや文化の普及活動など幅広い事業を展開しています。

## 関彰商事株式会社

奨学金制度、募金活動、地域イベントへの協賛、ボランティア活動など、様々な角度から社会貢献活動に取り組み、これからも「地域の皆様と共に生きる企業」であり続けます。



### 江崎玲於奈賞に単独協賛

ノーベル物理学賞受賞者・江崎玲於奈氏の功績を讃えて創設された本賞は、ナノテクノロジーの分野における研究業績を顕彰し、科学技術振興に寄与するために、茨城県が創設した賞です。弊社は地元企業として、2004年の初回からこの賞を単独協賛するとともに「科学技術に興味を抱く若者の育成・支援」という目的のもと、県内の高校生を対象とした受賞者の研究室見学会や、受賞者との科学交流会に対しても協賛しております。



### 伝統工芸品「クラフテリアート」の魅力を発信

2022年、後継者不足などの課題をもつ日本の伝統工芸を支援すべく東京・丸の内には「クラフテリアートギャラリー」を設立。「クラフテリアート」はクラフト・インテリア・アートを組み合わせた造語であり、多様な要素を併せ持つ伝統工芸の魅力を、展示・販売を通じて広く発信しています。2024年には、つくば本社併設の「スタジオ'S」にて、茨城地域の伝統工芸を紹介する展示を開催いたしました。



### キッズアート体験

筑波大学との芸術分野における連携活動では、2016年から子ども向けイベント「キッズアート体験」を主催。芸術を学ぶ筑波大生と共に子どもたちがアートに取り組む本イベントは、毎年好評を博しています。

## ザ・ヒロサワ・シティ

今回は筑西市にあります「自然・健康・文化の郷ザ・ヒロサワ・シティ」についてご案内いたします。

ザ・ヒロサワ・シティには「陸・海・空・宇宙のテーマパーク ユメノバ」、「廣澤美術館」、「下館ゴルフ倶楽部」など多数の施設があり、2年連続「プロが選ぶ観光・食事施設全国100選」に選出されました。

廣澤美術館は、本館・分館・つくは野館など計20の展示館からなります。

本館では茨城出身作家の横山大観、板谷波山などの展覧会を年5-6回企画・開催しております。また分館ではこちらも茨城にゆかりのある作家、大西勲、一色邦彦の展示館のほか那波多目功一、服部正一郎、鶴岡義雄などの絵画を展示しております。

ユメノバは、約6万㎡の敷地に、陸・海・空・宇宙の乗り物が勢揃いするテーマパークです。

「陸」では、レールパーク、消防自動車博物館、クラシックカー博物館などがあり、レールパーク内の北斗星は個室・開放寝台を利用して最大48名様まで宿泊が可能です。

「空」の財団法人科博廣澤航空博物館には、機械遺産YS-11をはじめ、零戦、タロジロを救出したシコルスキーなど国立博物館が所有する歴史的価値のある航空機7機を展示しております。

それぞれの展示館は「観る、遊ぶ、体験する」場所として大人からお子様まで幅広い世代に楽しんで頂くことができます。



## 株式会社アンドエスティ HD (ホールディングス)

2025年9月1日から株式会社アダストリアは株式会社アンドエスティ HDに名称変更し、持株会社体制に移行しました。新体制でも、「ファッションのワクワクを、未来まで。」を掲げ、「環境を守る」「人を輝かせる」「地域と成長する」を重点に、地域のお客さまと従業員にワクワクを届ける活動を続けてまいります。



今年4月に「みんなで作るFASHION SHOW」を開催

### 創業の地・水戸で広がるインクルーシブファッションの輪

当社グループが展開するプロジェクト「Play fashion! for ALL」は、障がいの有無や年齢、ジェンダーに関係なく、すべての人がファッションを楽しめる社会の実現を目指しています。北水会グループと共催した「みんなで作るファッションを考え楽しむ日」では、同グループの利用者や地域住民の方々に、接客のプロによる出張ショッピング体験を提供しました。また、創業の地へ感謝を伝えるイベント「ADASTRIA BAZAAR!」では、障がい者や高齢者、子どもたちや元スポーツ選手がモデルとして登場し、全員が主役になれるファッションショーを開催しました。今後も、多様性にあふれ、誰もがファッションを楽しめる社会づくりに向けた取り組みを続けてまいります。



第10回記念 水戸黄門漫遊マロン参加賞Tシャツ

### ファッションの力で茨城県のマロン大会を応援

アンドエスティ HDは、「守谷ハーフマロン」や「つくばマロン」、「水戸黄門漫遊マロン」など、茨城県内で開催されるマロン大会をファッションの力で応援しています。各大会で参加者に配布するTシャツには、当社が独自に開発したアクティブウェア向けの素材「AST」を使用しており、ストレッチ性、吸水速乾性、通気性を兼ね備えたスポーツに適した機能が特徴です。県内外から参加するランナーが、また参加したくなるような大会とするためデザインと機能性にこだわったTシャツを制作しています。この取り組みを通じて、茨城県内の発展と活性化を目指して取り組んでまいります。

## 茨城トヨタ自動車株式会社

### トヨタコミュニティコンサートの開催

1981年から継続している「トヨタコミュニティコンサート」は、地元のアマチュアオーケストラの活動を支援し、地域文化の振興に貢献することを目的としています。これまでに茨城県内で17回開催されており、障害者の方々も招待するなど、地域全体で楽しめるコンサートを提供しています。

### 磯山純 千波湖1万人無料ライブへの協賛

このライブは、茨城県水戸市の千波湖で開催される無料の音楽イベントで、地域の活性化や文化振興を目的としています。磯山純さんは、茨城県出身のシンガーソングライターであり、地域の魅力を発信する活動を積極的に行っています。ライブの開催にあたり、茨城トヨタ自動車がトップスポンサーとして支援することで、地域の文化芸術活動の発展に寄与しています。

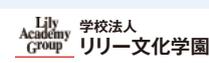
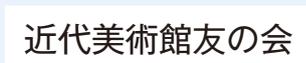


### 〈トピック〉

今年度から、「茨城トヨタ自動車株式会社」様が『シルバーパートナー』から『プラチナパートナー』に変わりますとともに、新たに「LuckyFM茨城放送」様並びに「水戸信用金庫」様を『シルバーパートナー』としてお迎えしました。

これにより、今年度は『プラチナ』5社、『ゴールド』4社・団体、『シルバー』7社・団体の、計16社・団体様のご協力をいただき、本事業を実施してまいります。

### パートナー企業の皆様



# INFORMATION

MOMA  
IBARAKI

9月～2月のご案内

## 茨城県近代美術館

### 企画展・関連イベント

#### 津和野町立安野光雅美術館コレクション 安野先生のふしぎな学校 9月13日 [土]～11月16日 [日]

・展覧会鑑賞プログラム「家族でわくわく てんらんかい」  
日時：9月27日 [土]  
① 幼児・保護者 午前10時30分～11時30分  
② 小学生・保護者 午後2時～3時  
会場：2階企画展示室など・定員：各回15名程度  
参加方法 当館webページ専用フォームから申込み  
※当日の企画展示室へ入室が必要  
・展覧会鑑賞1切りワークショップ  
日時：10月11日 [土] 午後1時30分～3時30分  
会場：地階講座室 / 定員：35名 (小学校4年生以上)  
参加費：1人50円 (行事保険加入料)  
参加方法 ① 当館総合受付にて申込書を記入  
② 当館webページ専用フォームから申込み  
※当日の企画展示室へ入室が必要

### 所蔵作品展 第1展示室

#### 日本の近代美術と茨城の作家たち 秋

前期：9月9日 [火]～10月13日 [月・祝]  
後期：10月15日 [水]～11月19日 [水]

#### 日本の近代美術と茨城の作家たち 冬

12月20日 [土]～2月15日 [日]

### 所蔵作品展 第2展示室

#### 絵画／怒／鏡—絵の中の空間—

9月9日 [火]～11月19日 [水]

#### 茨城の洋画家 辻永

12月20日 [土]～2月15日 [日]

### アートフォーラム

#### あつまれ! きんぴ小学校

9月13日 [土]～11月16日 [日]

### その他のイベント

・ようこそ! 美術の森へ—学芸員と巡るコレクション  
日時：9月20日 [土]、10月18日 [土]、11月15日 [土]、1月17日 [土]  
各日とも午前11時～(30分程度)  
会場：1階所蔵作品展展示室  
定員：なし (申込不要、要所蔵作品展チケット)  
※各イベントの詳細や申込方法は当館ホームページをご覧ください。

## 茨城県つくば美術館

### 土曜講座

時間：各日午後1時30分～(1時間半程度)  
会場：2階アルスホール  
料金：無料  
参加：定員80名  
※当館ホームページにて事前申込 (当日受付あり)。

10月11日 [日]

・第7回 「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展」について  
[講師] 木澤 沙羅 (茨城県天心記念五浦美術館学芸員)  
11月8日 [土]

・第8回 近現代KASAMA陶芸ストーリー—歴史編：「笠間焼」の誕生と発展  
[講師] 飯田 将吾 (茨城県陶芸美術館学芸員)  
12月13日 [土]

・第9回 近現代KASAMA陶芸ストーリー—現代編：活躍する笠間の作家たち (伝説)  
[講師] 名村 美和子 (茨城県陶芸美術館学芸員)  
1月17日 [土]

・第10回 建築家・吉村順三の世界  
[講師] 佐藤— (茨城県近代美術館学芸員)

※最新の情報は各館ホームページ等でご確認ください。



### 茨城県近代美術館

〒310-0851  
水戸市千波町東久保666-1  
TEL 029-243-5111  
FAX 029-243-9992

HP <https://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/>



### 茨城県つくば美術館

〒305-0031  
つくば市吾妻2-8  
TEL 029-856-3711  
FAX 029-856-3358

HP <https://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp/>



### 茨城県天心記念五浦美術館

〒319-1703  
北茨城市大津町橋2083  
TEL 0293-46-5311  
FAX 0293-46-5711

HP <https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>

## 県立美術館3館(近代美術館・天心記念五浦美術館・陶芸美術館)共通の年間パスポートを発売中! 詳しくはお問い合わせください。

### 美術館では以下の方は無料で展覧会をご覧いただけます。

○土曜日來館の高校生以下の方(ただし、土曜日が夏季、冬季及び学年末・学年始における学校の休業日に当たるときは除きます) ○教育活動としての茨城県内の小・中・高・義務・中等教育・特別支援学校(県外含む)の児童生徒及び引率者並びに教育活動としての茨城県内の幼稚園の幼児の引率者 ○国際交流事業として国外から本県に留学している方 ○児童福祉施設、身体障害者更生支援施設、知的障害者支援施設、老人福祉施設に入所している方及び付き添いの方(1人につき付き添い1人まで) ○身体障害者手帳、療育手帳の交付を受けている方及び精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方並びに付き添いの方(1人につき付き添い1人まで) ○指定難病特定医療費受給者証の交付を受けている方並びに付き添いの方(1人につき付き添い1人まで) ○生活保護法により扶助を受けている方

### 友の会ニュース 友の会では皆様のご入会をお待ちしております。

#### <お知らせ>

- ①今年度は5月と7月に学芸員によるギャラリートーク、7月に夏の美術鑑賞旅行を実施いたしました。また、9月28日から3週連続の日曜日に絵画講習会、そして、秋の美術鑑賞旅行(福岡・佐賀方面:2泊3日)と海外美術鑑賞旅行(イタリア方面:8日間)の計画を進めています。他にも行事やイベントを計画しておりますので、会員の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いたします。
- ②友の会では、新規入会の申込みを随時受け付けております。茨城県近代美術館でお申し込みの場合は、入会申込書を提出し、入会金を現金でお支払いください。直ちに仮会員証を発行いたしますので、会員としての特典をすぐにご利用いただけます。また、茨城県近代美術館友の会ホームページからも申し込むことができます。

#### 詳しいお問い合わせ

・年会費、ご入会等に関する詳しいお問い合わせは県近代美術館友の会事務局(☎029-243-5111)までお願いいたします。

・友の会ホームページでも年会費、ご入会等に関して確認できます。  
<https://fmoma.com>

